

# 印刷女子通信

2026.1月号 ver.101a

**gwp** 印刷女子。刷って、語って、つながって。



## 仲間と未来をつなぐ情報誌：『印刷女子通信』

印刷女子通信は、印刷業界で働く女性たちが、経験や知見を共有しながら、互いに学び合い、支え合うためのプラットフォームとして立ち上げたメールマガジンです。編集/発行元の Girls Who Print Japan は、同じ志を持つ仲間とのつながりが、個人の成長だけでなく、業界全体の前進にもつながると考えています。日々の業務の中で得た気づきや課題、挑戦の先にある達成感——それらを言葉にし、共有することで、次の一步を踏み出す力が生まれると信じています。

この活動では、活動レポート、キャリア支援、国内外の印刷トレンドなど、幅広い情報をお届けしたいと思います。読者の皆さまが自身のキャリアを見つめ、印刷業界の未来に前向きな視点を持てるような、そんなきっかけを提供できれば幸いです。これからもよろしくお願いたします！

## 目次：

- ① 印刷女子/Girls Who Print Japan: 京都イベントの開催レポート p.3 - 9
  - ② 特集：印刷業界で働く魅力&チャレンジ p.10 - 11
  - ③ 特集：印刷女子と考えるサステナブルな未来 p.12 - 14
  - ④ 事務局メンバーより（京都イベントをふりかえって） p.15 - 17
  - ④ 印刷女子/GWPj 誕生ストーリー / ミッション&ビジョン p.18 - 19
  - ⑥ 次回イベントのお知らせ： 2026.2.6（金）in 東京 p.20
- 

### 2/6（金）印刷女子 in 東京 参加登録 受付中



#### 午前：印刷会社様 見学会

- ・日時：2/6（金） 10:00 - 12:00（現地集合）
- ・コーディネーター：関野里美（セントラル印刷株式会社）



[詳細はこちら](#)

#### 午後：勉強会&交流会

- ・日時：2/6（金） 14:00 - 17:00（17:00以降に懇親会）
- ・場所：リコージャパン株式会社（東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル 12F）
- ・内容：自己紹介、勉強会、交流会
- ・コーディネーター：小林加奈（株式会社リコー）

---

#### 印刷女子通信（メルマガ）へのご登録はこちら

→ Googleで検索「印刷女子.style」 or 右のQRコードから



[詳細はこちら](#)

#### お問い合わせはこちら：Girls Who Print Japan 事務局 清水

- ・ Yusuke Shimizu <yusuke.shimizu@keypointintelligence.com> ・ 080-4799-2960

# ① 印刷女子/GWPj in 京都イベント (参加者)

皆さま、ご参加ありがとうございました！

	お名前	会社名	参加回数
○	青木 理恵	株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ	3+
	粟津 裕子	株式会社ホリゾン	2
	東 淑恵	株式会社文昌堂	初
	五十嵐 優佳	コニカミノルタジャパン株式会社	初
	亀田 ゆきの	SCREEN グラフィックソリューションズ	初
	駒田 好美	キヤノンマーケティングジャパン (株)	3+
○	小林 可奈	株式会社リコー	3+
○	清水 祐介	キーポイントインテリジェンス	3+
	志原 麻友	株式会社小森コーポレーション	初
	鈴木 裕香	鈴木美術印刷株式会社	初
○	鈴木 拓真	株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ	2
○	関野 里美	セントラル印刷株式会社	3+
	成澤 恵美	セントラル印刷株式会社	2
	高山 陽子	株式会社呉精版印刷	初
	高橋 果琳	富沢印刷株式会社	初
	田中 雅紀子	佐川印刷株式会社	初
	谷本 絵里	土山印刷株式会社	初
	臺野 優子	リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社	初
	中谷 路子	株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ	初
メ	中村 幹	株式会社印刷学会出版部	3+
○	永嶋 ゆり	株式会社 日本 HP	3+
メ	西山 奈美	印刷タイムス株式会社	初
メ	根崎 朋美	ニュープリンティング株式会社	初
	林 杏佳	株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン	初
	福田 智美	株式会社小森コーポレーション	初
	邑山 有沙	株式会社 SCREEN GP ジャパン	2
	矢崎 智子	株式会社 SCREEN GP ジャパン	初
	安田 沙紀	コニカミノルタ株式会社	初
	柳 有香	共栄印刷株式会社	初
	山田 あすか	富士フイルムビジネスイノベーション	初

(敬称略)

○ = 事務局/運営スタッフ    メ = 業界メディア

# ① 印刷女子/GWPj in 京都イベント (開催レポート)

11/28 (金) に、35名の参加者で、印刷女子 in 京都 2025 を開催しました。

## AM：土山印刷様への見学訪問

午前は、土山印刷様に見学にお伺いさせて頂き、印刷現場の見学、社員の方々と座談会を行いました。

### (1) 受付 & 準備 (鈴木さん、青木さん、邑山さん、永嶋さん、関野さん)



### (2) 土山印刷様からのご挨拶&工場見学 (福田社長様、福田副社長様、佐藤様、川口様)



### (3) デザイン部門の見学 → デザイン部門の方々をふくめた座談会/QA



## 参加者の声（土山印刷様へのご訪問/見学）



現場を訪問するのは初めてだったのでとても新鮮でした。印刷だけでなくデザイン梱包アセンブリ、発送までも受け持っているという雰囲気を肌で感じることができました。



弊社にとって、Visitor となる企業を訪問する機会は日常業務ではほとんどないため、大変興味深く拝見しました。展示会への来場から実際の購入に至るまでの流れをお話や現場の見学を通して知ることができ、非常に貴重な経験でした。



印刷所の見学は初めてでしたので、非常に興味深く見学させていただきました。特に 1F の作業場は自分が想像していたよりも少人数で運営されており、各機械に専任のスタッフがいるわけではなく、1人の作業の方が複数の機械を操作する点が印象的でした。



普段はなかなか拝見できないデザイン・プリプレスから、後加工・梱包の現場まで見学させていただき、大変勉強になりました。また、デザイナーの皆さまと直接お話する機会は非常に貴重であり、もう少しお話するお時間がいただければ嬉しく思いました。



技術や設備自体は弊社と似たものが多かったのですが、人員配置等細かい部分で異なるところも多く、仕事の進行や内容等とても興味深くお話拝聴いたしました。



印刷の一連のワークフローを見学させて頂き、参考になりました。やはり現場で働く方の考えや課題を直接聞かせていただけることは、メーカーとしては非常に有難いです。



立派な社屋、設備も整っていて、掃除も行き届いていて素晴らしいと思いました。スタッフの方がたが明るくがんばって仕事をされていました。比較的若い中堅社員とベテラン社員の構成もよい感じでした。新しくアセンブリ業務を展開され、京都らしい和菓子の会社のお仕事などされているのも素晴らしいと思いました。印刷工場が、きれいに整えられていて、特にパウダーが少なく床も綺麗だったので、早速、弊社の生産部メンバーに共有させていただきました。



さまざまな職種や立場によって異なる視点があることを学び大変参考になりました。これまで機械面の視点に偏りがちでしたが、一企業様の考え方を伺うことで非常に勉強になりました。



企業訪問はとてもよかったです。会社様によってそれぞれ取り組みが違うので、何度やっても飽きないなと感じました。



私自身が営業としてお客様の現場訪問を多く経験していたため、後半のディスカッションが特に興味深かったです。そもそも論になってしまうと思い質問を控えましたが、デザイナーの方がどのようなプロセスでクライアントの意図を汲み取り、デザインに反映しているのか、仕事が進めやすくなる工夫や希望、等のお話を伺ってみたいと思いました。



実際の印刷現場をみることができ、とても勉強になりました。  
弊社ショールームにお越しいただくお客様はオフセット→デジタルの移行を検討中のお客様なので、デジタルのジョブが5%でオフセットが95%という事実には衝撃を受けました。



午前の土山印刷様への訪問では、弊社の印刷機械を使用していただいておりますが、実際に工場を見学するのは初めてでした。広々とした綺麗な工場で、多くの業務を兼務しながら効率的に作業されている姿には感銘を受けました。土山印刷社員様とのQ&Aセッションも、普段聞けないデザイナーさんの話を聞くことができ、非常に勉強になりました。



駅から遠い不便な立地にも関わらず、多くの皆様にお越しいただいたこと、感謝しております。また、みなさんから弊社社員や現場に対していただいたフィードバックは大変励みになりました。



## PM : 勉強会 & 交流会の実施 in SCREEN グラフィックソリューションズ

今回の開催ホスト「株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ様の本社に移動し、勉強会&交流会を行いました。印刷業界の魅力&将来を考えるワークショップを実施しました。

### 1) SCREEN 社のご挨拶、開催概要、(田中社長、司会：青木さん)



### (2) 印刷女子/GWPj 事務局のご挨拶、GWPj 歴史の紹介、GWPj 活動 Mission/Vision の共有



### (3) 自己紹介タイム (各人：1-2分)



### (4) ワークショップ & 交流会

- ②特集：印刷業界で働く魅力とチャレンジ p.10 - 12
- ③特集：印刷女子と考えるサステナブルな未来 p.13 - 15

## 参加者の声 (SCREEN 様での勉強会/ワークショップ/交流会)



営業職の方々や、経営者の方々が多く、皆さん話がとても上手だと感じました。もともと社外の方はともかく社内でも他部署との交流すらも希薄な職場でしたので、それこそ印刷会社の方との交流は初めてでした。現場の生の声を聴けるのは新鮮で、かつ国内の印刷現場の視点や考え方などを知れたのはとても良かったです。個人的には最近インクジェット関連の研修や展示会参加が多かったのですが、「国内の印刷業界」を知れたのがとても良い学びでした。



参加者が多く、自己紹介だけでもそれぞれ個性がありとても興味深く、時間が短く感じられるほどでした。異なる職種の方が集まっていたため、多角的な視点からのお話を伺うことができ、大変刺激的でした。



2つのワークショップを通して、普段なかなか接点のない方々とお話することができて大変有意義でした。印刷所の方々がアナログ印刷とデジタル印刷をどのように使い分けているか、それぞれのメリット・デメリットをどのように考えているかなどお伺いでき勉強になりました。



以前のように自由な席替えではなく、席が決められていたことで進行もスムーズで、毎回フレッシュな気持ちでグループワークを楽しませていただきました。雑談の時間はさらに交流を深めることができる有意義な時間でした。ワークショップではテーマが難しく苦戦した印象ですが、難しいテーマであるほどたくさんの意見交換ができました。



普段は中々お会いすることが叶わない方々との意見交換ができ、とても勉強になりました。席をシャッフルする時間があつたので、より多くの方とお話できました。話が弾んで呉印刷様からお見積のご依頼もいただきました。ありがとうございました。



ワークショップを通じて、多くの共感を得られ、個人的にはさらに業界を盛り上げていきたいと、前を向ける機会となりました！印刷会社の社長さんのご意見等伺う機会は多くないので、大変勉強になりました。是非200人達成を目指していけたらいいですね。社内には伝搬しておきます！



参加者の皆様の多様な職種や、SCREEN様のご紹介など、これまで知らなかった情報を得ることができました。世代の異なる方々がどのような考えをお持ちなのかを知ることができ新鮮でした。個人的には、必要以上に性別に焦点を当てるのではなく、個人としてフェアで率直にお話しできたことが良かったと感じています。



職種や立場で視点が全然違うことが体感でき、とても面白かったです。時間の関係で、職種やお仕事内容の話が中心になりましたが、今後のキャリア等についても色々お話をお伺いしたかったです。

この場だから話せる悩みやお困りごとを共有できる場になればいいなと思いました。



ディスカッションテーマについての皆さんの発言は、業務上のヒントになることも多く楽しかったです。印刷業界は「受注産業」というイメージを耳にすることも多いですが、あの場にいる限りは「全くそんなことはない」と感じました。普段、仕事だけは繋がることの出来ない多種多様な方々のリアルなお話を聞く機会となり、貴重な経験でした。



難しいお題でしたが、みなさんの色々な視点からの考えが勉強になりました。印刷がもつ意味や目的、それをどう周知させていくかなど改めて考えるきっかけになりました。



ワークショップや夕方の交流会も大変興味深かったです。ただ、Screen 様に移動した際に、会社見学の時間があればもっと良かったと感じました。ワークショップの議題も考えさせられるもので、日々の業務を見直す良い機会となりました。



同業界のみなさんとざっくばらんに意見交換できたことは貴重な経験でした。立場や職種をこえてディスカッションできたことは勉強になりましたし、未来をみすえて今なにができるか、考えられてことは有意義でした。社内のメンバーでどうしても現実的な範囲で終わってしまう思考の範囲が、広がったように感じました。

夕方の交流会&ワークショップでは、たくさんのお菓子をご用意いただきまして、ありがとうございました。現金な意見ですが、お菓子があるだけで前向きな気持ちで取り組めたように思います w 業界に、こんなに仕事のこと、未来のことをまっすぐ真剣に考えている世代のちかい人たちがいる！ということを知って、仕事に対していろいろ思うことはあるけれど、前向きな気持ちで頑張りたいな、と思えました。



食事は、顔見知りメンバーと一緒にでしたが、ワークショップのため組み分けとなり、あらたに知り合えたり、コミュニケーションを持てたりと、うまく交流できるよう工夫されていました。大手企業であるベンダーさんの女性社員の皆さんは、優秀な方が多く、しっかり自分の意見を話せる方がいて頼もしく感じました。

夕方の交流会&ワークショップでは、上記とほぼ同じですが、お茶菓子をいただきながら、ワークショップのテーマは、大きい内容になりました。同業の女性営業の皆さんのお話も大変参考になりました。どこまで本音を言っているかわからない、まだ取り繕っているところがあるという率直な意見もあり、次回以降本音トークで話せる場というのが必要ななと思いました。

## ② 特集：印刷業界で働く魅力とチャレンジ

印刷女子 in 京都のイベントでは、3つのワークショップを行いました。

「印刷業界で働く魅力とチャレンジとは？」は、当日の1つ目のワークショップです。

### ■ グループディスカッションを通じて見えた風景

「アイデアが街に届く。印刷は、社会とつながるものづくり。」

そんな視点から、印刷業界の魅力と課題を多角的に捉えるワークショップが、Girls Who Print Japan の京都会合で開催されました。複数チームによるグループディスカッションを通じて見えてきたのは、印刷という仕事の奥深さと、未来への可能性です。



### ■ 印刷業界の魅力：多様性と創造性に満ちたフィールド

#### 1. 人と情報の交差点としての印刷

印刷物は、業界や業種を問わず、あらゆる分野と接点を持つメディア。経営層から現場まで幅広い人々と関わる機会があり、世界的展示会を通じてグローバルな発信も可能です。

→ 印刷は、情報と人をつなぐハブ。多様な業界・文化へのアクセスが可能な稀有な仕事です。

#### 2. アイデアが形になるクリエイティブなものづくり

営業や企画のアイデアが印刷物に直接反映され、完成品が街中で目に見える形で流通する達成感は格別。伝統技術から最先端技術まで幅広く学べる環境も魅力です。

→ 印刷は「目に見えるアウトプット」が得られる仕事。アイデアがそのまま社会に届きます。

### 3. 柔軟な働き方と多彩なキャリアパス

企画・営業・製造・技術など職種の幅が広く、未経験からでも参入しやすい。女性の感性が活かせる場面も多く、自分らしい働き方で長期的なキャリア形成が可能です。

→ 印刷業界は「キャリアの選択肢」が豊富。自分の強みを活かして成長できるフィールドです。

## ■印刷業界のチャレンジ：構造的課題と変革の兆し

### 1. デジタル化・効率化の壁

分業体制による工程の複雑さや熟練工への依存により、標準化・自動化が進みにくい現状があります。リモートワークが難しい業務も多く、働き方改革が求められています。

→ 印刷の生産構造は「デジタル化しにくい」。業界全体の生産性向上が急務です。

### 2. 業界価値の認知不足

「紙に刷るだけ」という誤解が根強く、印刷の多様性や技術力が十分に伝わっていません。現場からの発信力強化や展示会・イベントの充実が課題です。

→ 「見えない価値」が多すぎて魅力が伝わらない。「印刷って面白い」を発信する力が必要です。

### 3. 産業モデルの転換

受注型からトータルソリューション型への移行が求められています。企画・デザイン・運用までを含む提案力や、紙以外への印刷技術の拡張など、新たな可能性が広がっています。

→ 印刷の価値は「情報を届ける体験設計」へ。産業モデルの変革が鍵です。

## ■まとめ：印刷業界の未来に向けて

このワークショップを通じて得られた示唆は、印刷業界の未来を描くうえで重要な指針となることでしょう。

- 印刷業界は「多様性」と「創造性」に富んだ職場。若手や女性が活躍できる可能性が高い。
- 業界の魅力は内在しているが、外部への発信力が不足。ブランディングの強化が急務。
- デジタル化・効率化の遅れは、構造の見直しと技術導入によって改善可能。
- 印刷の価値は「モノづくり」から「情報体験の設計」へ進化。産業モデルの再構築が求められる。
- 印刷技術の拡張性やグローバル展開は、業界の未来を切り拓く鍵となる。

印刷女子の視点から見つめ直した業界の“今”。本レポートが、皆さんの仕事やキャリア、そして業界の未来を考えるヒントになれば幸いです。

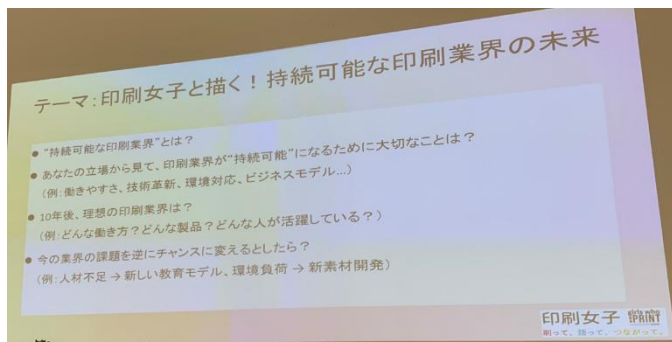
(ワークショップ担当：永嶋ゆり 株式会社日本 HP)

## ③ 特集：印刷女子と考えるサステナブルな未来

当日の2つ目のワークショップでは、参加者に、

- 印刷業界が持続可能であるために大切なこと
- 10年後の理想の印刷業界像
- 現在の課題を、どうチャンスに変えられるか

という問いが投げかけられ、3チームによる発表が行われました。



### ■ 持続可能な印刷業界を支える視点

「サステナブルは“環境対応”だけではない。人・技術・価値の循環で、業界は続いていく。」

各チームの議論に共通していたのは、持続可能性＝環境配慮だけではなく、働く人・技術・ビジネスの在り方すべてを含む概念だという認識でした。個別の課題を点で捉えるのではなく、それらが循環し、相互に影響し合う構造として語られたことが、このワークショップの大きな特徴です。

#### 1. PR とイメージ刷新：業界の「見え方」を変える

印刷業界は今もなお「工場」「現場」「オフセット」といったイメージが先行しがちです。

しかし、働き方改革や新しい技術、女性の活躍などを積極的に発信することで、

- 業界イメージの向上、新卒・若手人材の採用強化、既存社員のエンゲージメント向上といったインターナルブランディングにもつながる、という意見が出ました。

→ 印刷業界は、語られていないだけで、変化している。

その姿を外に伝えること自体が、持続可能性を高める行為です。

## 2. 働き方改革：人が続けられる業界へ

「刷り直し」や突発トラブルなど、構造的に負荷がかかりやすい印刷の現場。

ここに向き合わなければ、人材確保は難しくなります。

- 自動化・省人化による負担軽減
- 多様な人材が働き続けられる環境づくり
- ワークライフバランスへの配慮

これらは単なる福利厚生ではなく、業界が続くための前提条件として捉えられていました。

→「人が疲弊しない仕組み」が、結果としてサステナブルにつながる。

## 3. 技術革新：二極化する未来をどう活かすか

A チームからは、印刷業界の未来像として

\*\*「二極化」\*\*という興味深い視点が提示されました。

- 自動化・省人化の方向  
→ 誰でも扱える機械、属人化しない品質、安定した生産
- 職人技を極める高付加価値の方向  
→ 日本の印刷技術をブランド化し、  
海外から「わざわざ刷りに来る」存在になる

一見正反対に見えるこの2つは、どちらも「印刷の価値を高める」という点で共通しています。

→ 技術革新は、効率化か、価値創造か。どちらも選択肢として成立する未来が描かれました。

## 4. クライアント教育：無駄を減らす最大の鍵

G チームからは、「教育」というキーワードが提示されました。

印刷は、

- 色ブレ
- 紙粉やピンホール
- 機械的に避けられない現象

を含む、“生き物”のような特性を持っています。この理解がクライアント側に不足していることで、

- 不必要な刷り直し
- 紙の無駄
- 現場負荷の増大

が発生している、という指摘です。

→ 印刷の特性を正しく伝えることが、環境配慮・働き方改革・コスト削減すべてにつながる。

## 5. ビジネスモデル転換：価格競争から価値競争へ

多くの意見に共通していたのが、「安くて当たり前」の構造からの脱却でした。

- 技術や職人技のブランド化
- 企画・提案・コンサル型の関わり
- トータルソリューションとしての印刷

印刷は単なる受注産業ではなく、「情報をどう届けるか」を設計する産業へ進化できる。

→ ビジネスモデルの転換こそが、持続可能性を支える経済的基盤になります。

### まとめ：持続可能性は「循環」でつくられる

このワークショップを通して見えてきたのは、持続可能な印刷業界とは、単一の正解がある世界ではないということでした。

- 働き方改革
- PR とイメージ刷新
- 技術革新（自動化／高付加価値）
- クライアント教育
- 環境配慮
- ビジネスモデル転換

これらは個別の施策ではなく、相互に循環し合うことで、業界の未来を形づくる要素です。

印刷業界の課題は、見方を変えれば、そのままチャンスの中にもあります。

印刷女子の視点で描かれた「10年後の業界像」。

この対話が、業界の次の一歩につながることを願っています。

(ワークショップ担当：小林可奈 株式会社リコー)

## 4 事務局メンバーより (京都イベントを振り返って)



事務局として運営に携わらせていただき、**大変貴重で良い経験になった**というのが率直な感想です。2年目の私に、ホストならびに司会を任せていただき、ベテランの皆様の前でお話するのは、非常に緊張しましたが、終えてみて、「やって良かった」と心から思っています。

過去全ての回への参加はできていませんが、**一年前のキックオフ (昨年11月) と今回を比較すると、Girls Who Print Japan は、確実に成長し、多様になっている**と肌で感じます。参加者の幅も広がり、特に今回は**私と同世代の参加者が増えた**と思います。一年前は完全に「アウェイ」でしたが、今回は年次の近い方も多く、「業界のことも製品も、そもそも用語すら分からない」という声があり、同じ悩みに直面している人がいることに安心しました。

そして、**何度も顔を合わせることで、少しずつ打ち解けられることも**実感しました。実際、何度かお会いしている方とは、お顔を見ただけでホッとしました。回数を重ね、親睦を深めるにつれて、**良い意味でのぶっちゃけトーク**ができるように思います。

事務局としてのイベントを運営することも、私自身、運営のお仕事をするのは今回が初めてで、マニュアル等もない中で、頭の中で何度もシミュレーションをして準備を進めました。大変さもありましたが、こうした**運営をすることが好きだ**という自身の新たな一面も認識できました。語ってつながり続けていくことを大切にしながら、印刷女子の集いが、より安心して本音が話せる場に、育っていけば嬉しく思います。  
(株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ ビジネス統轄部 販売推進部 青木 理恵)



今回、**世代を超えた集まり**になっていたのが、とても良かったと思います。

今日はまだ、皆さん少し「猫をかぶっている」状態だったかもしれませんが、回数を重ねて、**もっとお互いを知っていくことで、単なる愚痴ではなく、「本当に知りたいこと」を率直に聞き合える関係**になっていけるのではないかと感じました。

私自身、男性ばかりの集まりにもよく参加するのですが、**女性のほうが本音を言うのが早く、必要な情報を惜しみなく共有してくれる**という実感があります。これはある意味、生物的な違いなのかもしれません。だからこそ、この会が次の世代のために、良いアドバイスやリアルな情報を受け渡していける場になっていくと良いなと期待しています。

私が関わっている「全員 50 代以上の女性経営者ネットワーク」では、毎週月曜朝 9 時から 30 分だけ、オンラインでのミーティングを 200 回ほど続けています。参加は完全に自由で、残ったメンバー同士では、**就業規則からコストまで赤裸々に情報共有**しています。かなり踏み込んだ話も出ます。商圏がかぶっていないこともありますが、今はもう「隠し合う時代ではない」と皆が感じているからこそ

成り立っている場だと思います。オンラインだからこそ、場所の制約なくこうした場づくりができるのは、本当に大きいです。

Girls Who Print Japan も、業界内の壁や会社の壁を超えて必要な情報が得られ、働きたい働き方を考えられる場になっていくといいなと感じました。その\*\*“第一歩の兆し”が見えた\*\*、とても良い一日だったと思います。また、「ぶっちゃけトーク」をやるなら、きちんとファシリテーターがいて、ネガティブな愚痴の出し合いにならないようにすることが大事だと思います。課題解決につながる本音なら大歓迎ですが、単なる不満大会になってしまうと、場の価値が下がってしまいます。そこは今後、工夫していきたいポイントだと感じました。(セントラル印刷株式会社 代表取締役社長 関野 里美)



私は今回で4回目の参加となりますが、今日の会は、これまでの流れの中でも大きなマイルストーンだと感じています。デジハリでの回からご一緒する中で、方向性やベクトルが少しずつ揃ってきたという印象を強く持っています。

今回、ミッションやビジョンについて話し合い、

- 「印刷業界をもっと魅力的にしたい」
- 「業界の魅力がまだ外に十分発信できていない」

という課題を、みんなで共有できたことがとても意義深いことでした。ワークショップを通じて、一人ひとりが自分の言葉で考えを言語化したこと自体が大きな前進だと思います。

集まるだけではなく、そこから新しい価値や希望の光、そして未来への道筋が見えてきた感覚があります。ロードマップでは「5年後にメンバー200人」という目標を掲げていますが、今日の熱量を見ていると、本当に実現できるのではないかと思えました。いずれは「200人が集まるイベント」「10年後に1,000人」といった未来も、決して夢物語ではないはずです。むしろ、今日の議論を聞いていると「その時、会場はどこにしよう？」なんて、ちょっと先走った想像までしてしまいました。

また、職場の中では、時には話しにくいこともあるかもしれませんが、利害関係のない方々だからこそ素直に話せることもたくさんあります。企業を超えて集まれる場があるというのは、それだけで大きな価値だと思います。

今日の会を通じて、印刷業界の未来に向けた確かな一歩を踏み出せたことを、心から嬉しく思います。次に集まるときには、さらに大きな景色が見えているはず。その日を楽しみにしています。

(株式会社日本 HP デジタルプレス事業本部 マーケティング部 シニアスペシャリスト 永嶋ゆり)



ディスカッションを通じて、皆さんがそれぞれ考えていることに共通点が多いと感じました。一社だけで頑張るよりも、複数社が連合体のような形でまとめ、PRや業界内外への発信をしていくほうが、ずっと強くなれるのではないかと思います。それを **Girls Who Print Japan** という枠組みの中で実現できたら良いなと感じています。

部署異動により商用印刷から離れていたため、商用印刷工場を訪問するのは前回から 5 年以上ぶりとなり、自動化・省人化の進展を強く実感しました。

また、SCREEN 様本社への訪問も非常に印象的でした。社長からご挨拶をいただき、Girls Who Print への全社的な取り組みを強く感じました。ホストを務めてくださった SCREEN の青木様は、入社 2 年目にもかかわらず、全体の進行や事前準備を中心となって担当されており、非常に頼もしく感じました。さらに、各部署の上長の方々も挨拶や視察に来られ、机の移動やごみの整理などを率先して行う姿から、協力的でフラットな企業文化を感じました。

(株式会社リコー RGC グローバル販売本部 販売推進グループ 小林 加奈)



今回の GWP イベントは、私が記憶する限り初めての終日開催であり、さらに初めての関西開催でした。また、事務局メンバーが正式に決まった後で行われた初めてのイベントでもあり、事務局メンバーが主体的かつ自由な発想で作り上げたイベントで、まさに「初めて尽くし」の取り組みでした。

今後を占う意味でも非常に意義深いイベントだったのではと思います。ホスト側としては、準備段階から多くのことを考え、悩み、事務局メンバーと相談を重ねながら、社内を東奔西走して当日を迎えました。

当日は、来場いただいた皆様に快適で実りある時間を過ごしていただけるよう、柔軟に対応を変えながら運営することを心掛けました。結果として、もちろん改良の余地はありましたが、事前に想定していたアジェンダ通りに進行し、ワークショップも無事に遂行され、参加者の間では率直な意見交換が活発に行われ、「語って、つながって」というテーマを体現できた場になったと感じています。

個人的な感想ですが、男性としてこの GWPj に参加するたびに「本当に羨ましい」と感じてしまいます。多様な方が集まり、つながりを深めるこの団体は、設立からわずかな期間でありながら、非常に価値のある貴重な存在だと感じます。ぜひ今後も継続して開催していただきたいですし、多様性という意味で、そこに少しでも男性が参加できる余地があれば、それもまた素敵だなと思います。

(株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ ビジネス統轄部 経営推進部 鈴木 拓真)

## ⑤ 特集：印刷女子の歴史と Mission/Vision

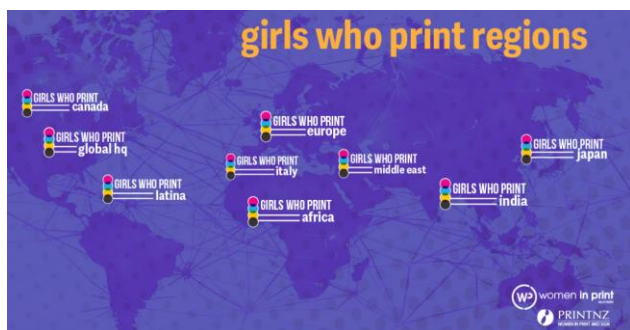
印刷業界で日々、創造力と情熱をもって活躍する私たち「印刷女子」。その一人ひとりの想いや経験がつながり、今、新たなムーブメントが生まれました。それが「Girls Who Print Japan」です。

世界最大級の印刷業界女性ネットワーク「Girls Who Print」の想いを受け継ぎ、私たち自身の手で、日本の印刷業界に新しい風を吹き込もうとしています。

2009年に米国で始まった挑戦が、15年の時を経て、ついに日本でも動き出しました。この巻頭特集では、Girls Who Print Japan の誕生の背景と、私たちが掲げるミッション・ビジョンをご紹介します。

### 2009（米国）：Girls Who Print 創設

米国で *Girls Who Print* が誕生。印刷・グラフィック業界に携わる女性たちのネットワークとして設立され、現在では世界最大の女性印刷プロフェッショナル・コミュニティ（メンバー数1万1千人以上）に成長しています。印刷業界における女性リーダーの少なさを是正し、女性のエンパワメントを図ることが創設の背景にあります。



<https://girlswhoprint.org/>



### 2024（日本）：準備期間と初ミーティング

5月、世界最大の印刷展示会 drupa にて米国 GWP 関係者との出会い・交流がきっかけとなり、日本での活動が動き始めました。業界有志が集い準備を重ね、11月に東京・印刷会館にて **Girls Who Print Japan 第1回ミーティング** を開催。国内でのキックオフとなりました。

### 2025（日本）：本格始動と組織づくり

1月より定期ミーティングが本格化。エプソン販売、デジタルハリウッド大学、HP、SCREEN など主要企業の協力を得て、第2～第5回まで開催され、交流と情報共有を重ねました。並行して8月以降、事務局メンバーを決定し、**ミッション・ビジョンの策定**、公式ホームページ準備、広報活動計画の議論など組織基盤づくりを推進しました。こうして国内外の動きを踏まえた日本支部が本格的に動き出したのです。

## Girls Who Print Japan : Mission

出会い・学び・共感を通じて、印刷業界で働く女性たちが互いに力を高め合い、次世代のリーダーを育む支援的なコミュニティを築きます。

## Girls Who Print Japan : Vision

印刷業界の魅力を社会に発信し、多様なステークホルダーと連携しながら持続可能な業界の未来を創造します。誰もがリーダーシップを発揮し続けられる環境を整え、若い世代も憧れる業界へと進化させていきます。

## Girls Who Print Japan 活動：4つの「キーワード」

### 出会い・学び・共感

世代や職種を越えて、印刷業界で働く女性たちがつながり、学び合い、共感し合うことで、互いの力を引き出し合う。孤立しがちな職場環境の中でも、仲間の存在を感じられる、支え合いのコミュニティを育てます。

### 女性のリーダーシップ支援

教育・スキル開発・メンタリングなどを通じて、女性が自信を持ち、自らの可能性を広げていけるよう後押しします。多様なキャリアのあり方を尊重し、誰もが自分らしくリーダーシップを発揮できる業界づくりを目指します。

### 印刷業界の魅力発信

印刷の価値と楽しさを、業界内外に向けて発信します。若い世代や女性が「印刷って面白そう」と感じられるよう、業界で活躍する女性たちの声を通じて、印刷の可能性と魅力を伝えていきます。

### 持続可能な未来の創造

企業・業界団体・行政・教育機関・メディア・海外ネットワークなど、多様なステークホルダーと連携しながら、誰もが活躍できる印刷業界の未来を描きます。国際的な視点を取り入れながら、変化に強く、次世代に誇れる業界へと進化させていきます。

## ⑥ 次回イベントのご紹介

[詳細はこちら](#)



### 2026.2.6 (金) PM: 印刷女子 in 東京



#### 午前：印刷会社様 見学会

- ・日時：2/6 (金) 10:00 – 12:00 (現地集合)
- ・コーディネーター：関野里美 (セントラル印刷株式会社)

#### 午後：勉強会&交流会

- ・日時：2/6 (金) 14:00 – 17:00 (17:00 以降に懇親会)
- ・場所：リコージャパン株式会社
- ・住所：東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル 12F
- ・内容：自己紹介、勉強会、交流会
- ・コーディネーター：小林加奈 (株式会社リコー)



リコージャパン様の会議室にて、交流会・勉強会を開催いたします。同じ印刷業界で働く女性同士が、仕事やキャリアについて語り合い、仕事をする上で大切にしていることや、現在抱えている悩み・課題を共有しながら、刺激や気づきを得る場を目指します。具体的には、キャリアシートを作成し、意見交換を行いながら、自身の経験や今後の方向性を整理するワークを予定しています。

#### もちもの & 注意事項

- ・参加費：現金 3,000 円 (午後に集金させていただきます) (領収書ございます)
- ・筆記用具 & 出会い & 学びを楽しむ気持ち！

印刷業界のメディア取材がはいる予定です。また、広報活動のための写真撮影があります。「自分らしく働くために学び・語り・つながるチャンスがある印刷業界」を発信する活動の一環です。交流を楽しんで頂くために、顔出し NG の方々にはご配慮いたしますが、是非、ご協力ください。